

# 緑茶の飲用実態と嗜好等に関する調査結果

## [研究のねらい]

急須で淹れる緑茶(以後、緑茶と言う。)の飲用実態と嗜好性等について明らかにする。

## [研究の成果]

- ・緑茶を毎日飲む人は、60代が6割、40代は4割、20代は2割と若い年代ほど低下する(図1)。
- ・年代や性別を問わず、8割以上の人々が緑茶を好んでおり(図2)、緑茶の飲用頻度と飲用意識にはギャップがあり、緑茶の潜在需要は高いと推察。
- ・緑茶は食事中やほっとしたいとき、緑茶飲料(ペットボトル)は喉が渴いたときに飲まれており、緑茶と緑茶飲料では飲用場面・目的が異なる(図略)。
- ・半数以上の人々が緑茶の機能性に関心を持ち、特に女性の関心が高い(図略)。
- ・緑茶の香りは好きだが、香りが弱く、バリエーションが少ないと感じている人が多い(図略)。
- ・若い女性は茶殻の処理等が面倒と感じている(図3)。
- ・緑茶の飲用頻度の低い若い女性が自分用に使ってみたいと思う茶の商品形態は、自立式チャック付き袋に入ったティーバッグタイプの茶であった。

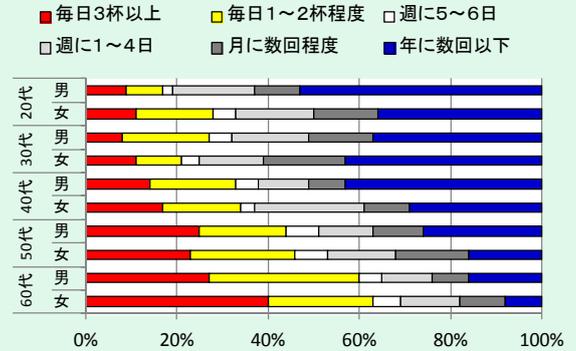


図1 緑茶の飲用頻度(年代別・性別)

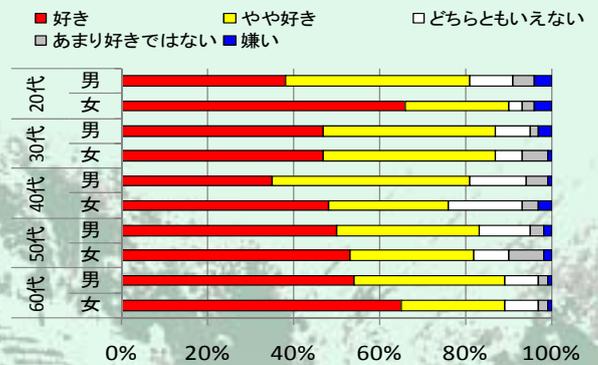


図2 緑茶の嗜好性(年代別・性別)

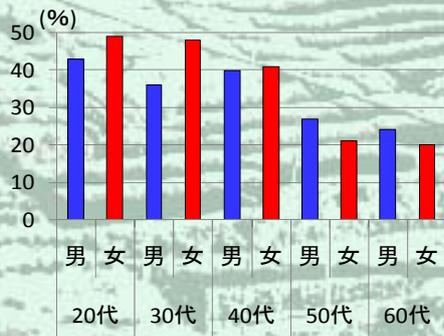


図3 茶殻の処理が面倒と回答した人の割合(年代別・性別)

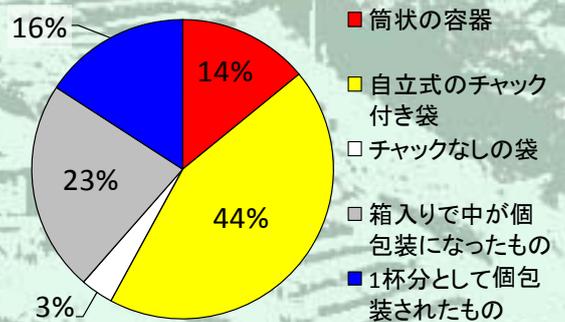


図4 20代~40代の女性が買ってみたいと思う茶の商品パッケージ

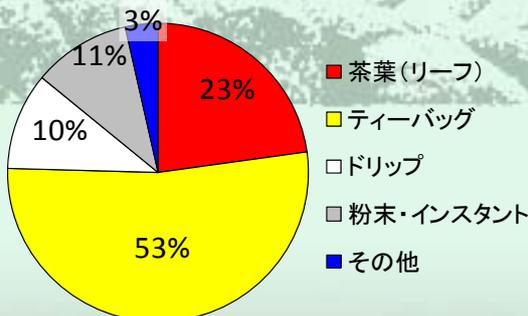


図5 20代~40代の女性が買ってみたいと思う茶の商品形態

【図1~3】インターネットアンケート調査、対象：東京都・静岡県在住の20代~60代の男女計1,000人  
【図4~5】会場テスト(静岡市内)、対象：緑茶の飲用頻度が低い20代~40代の女性計57人  
調査協力：(株)トムス

問い合わせ先 栽培育種科 0548-27-2884  
代表 0548-27-2880  
E-mail: ES-kenkyu@pref.shizuoka.lg.jp